

2018年度受賞者

受賞おめでとうございます。(敬称略)

平成 30 年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰 結城 朋子

公衆衛生事業功労者 日本公衆衛生協会会長表彰 田中 宏

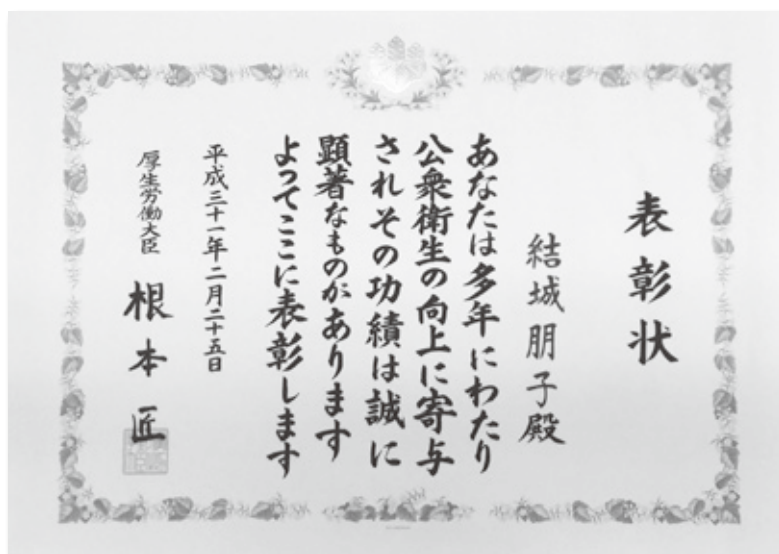
公衆衛生事業功労者 日本公衆衛生協会会長表彰 吉田 正

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣賞を受賞して

総務委員会常務理事
結城 朋子

平成 31 年 2 月 25 日（月）、大手町サンケイプラザにて「公衆衛生事業功労者厚生労働大臣賞」「公衆衛生事業功労者一般財団法人日本公衆衛生協会会長賞」「地区衛生組織活動功労者一般財団法人日本環境保健活動団体連合会会長賞」が合同で行われ、それぞれの賞の受賞者が一人一人が紹介された後、代表者に表彰状と記念品が手渡されました。表彰式には、医師や看護職などの年配の方が多く出席されていました。このような中、診療放射線技師でまだまだ若輩ものの自分が出席できるのも、この年齢まで長く診療放射線技師として仕事を続けてこられたこと、さらに技師会活動が続けることができたこと、全てにおいて家族、職場の皆さま、また技師会役員の方のご理解とお力添えがあって受賞できたものと感謝の念に堪えません。これからも診療放射線技師の一人として今回の受賞に恥じないよう日々の仕事に、技師会活動に従事していきたいと思ひます。

最後になりましたが、本賞受賞に当たり、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会長さまにご推薦いただき誠にありがとうございました。また日常業務の忙しい中、技師会活動にご理解いただいています済生会川口総合病院放射線技術科科長、スタッフの皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。



ご寄付お礼

ありがとうございました。

小柳 洋二 会員より 10万円のご寄付をいただきました。

厚くお礼を申し上げます。

平成 31 年公益社団法人埼玉県診療放射線技師会新春の集い開催報告

総務委員会常務理事
城處 洋輔

恒例となっております新春の集いが、平成 31 年 1 月 11 日（金）に大宮サンパレス GLANZ で開催されました。毎年この時期、新年のごあいさつや顔合わせ、また情報交換の場として多くの会員、および賛助会員の皆さまにご参加いただいております、今回の出席者は 102 人、このうち埼玉県診療放射線技師会の新入会員 29 人の皆さまにもご出席いただきました。

田中会長より新年のごあいさつをいただき、しばらくご歓談された後、平成 30 年の表彰者が紹介され、代表して平成 30 年秋の叙勲におきまして瑞宝双光章を受賞された小柳洋二氏からお言葉を頂戴しました。また今回は特別企画として、当会役員で結成されたメガベクレルズのメンバーによる演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。第 35 回日本診療放射線技師学術大会の情報交換会でも演奏されますので、聴けなかった方はぜひご参加ください。会場の雰囲気慣れてきたころ、日ごろお世話になっております賛助会員の皆さまから短い時間ではありますが、お言葉を頂戴しました。その後、新入会員の紹介が行われ、自己紹介を兼ねて将来の抱負など、一人一人お話しいただきました。終始和やかな雰囲気の中あっという間の 2 時間でした。

最後にお忙しい中、ご参加いただきました会員、賛助会員の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、皆さまのご協力を賜り、執行部一同、当会の運営に努力してまいります。

今後ともよろしくお願い致します。



会場風景



新入会員紹介



メガベクレルズによる演奏

第1回 SART 学術ナイトセミナー ～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～ 開催報告

学術委員会理事
中根 淳

平成 31 年 1 月 25 日に桶川市民ホール 響の森で第 1 回 SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～を開催しました。

内容および講師は、以下の通りです。

プログラム

- ・一般撮影の撮影条件について考える

上尾中央総合病院

滝口 泰徳

- ・CT の撮影条件は、WW,WL から考えよう

埼玉医科大学総合医療センター

中根 淳

- ・医療被ばく情報の記録

春日部市立医療センター

矢崎 一郎

このセミナーは、若手技師のスキルアップと最近のトピックスに関する情報提供を目的に企画致しました。今回は、埼玉県診療放射線技師会として初めて桶川市での開催であり、参加者が集まるのか不安でしたが、31 人の参加をいただきました。講演毎に会場から質問があり、参加していただいた方には、有意義なセミナーであったと感じております。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



平成 30 年度 第 17 回 胸部認定試験 開催報告

学術委員会
土田 拓治

平成 31 年 1 月 26 日（土）、技師会事務所で第 17 回胸部認定試験を開催し、17 人が受験した。試験内容は、前年度に引き続き高精細モニタによる読影方式を採用し、読影試験 20 例と筆記試験 40 問であった。高精細モニタを用いた読影試験は、1 症例の時間を決めて全受験生が同時に閲覧するスタイルのため、個人による表示タイミングの違い、階調調整・ズーム機能を使用できないなどの一部制限があったが、フィルムとシャウカステンを用いた読影試験より概ね好評であった。今後は、予算の関係もあるが、受験者が上記のような制限を受けることなく、読影試験を受けられる環境を整備したいと考えている。

本認定試験は、埼玉県診療放射線技師会独自の認定制度であり、難易度も高く、認定講習会を受講し認定試験を受けることで、自分自身の撮影技術や読影能力がどれくらいのレベルなのか確認することができる。日々行っている検査が、患者さんに対して良質で安全な検査であり、しっかりと精度管理されているものか、考える機会にさせていただきたいと思う。

最後に、認定試験の開催に当たり、問題作成にご協力いただいた講師の皆さま、また受験いただいた皆さまに重ねてお礼を申し上げます。

今年度は、A 認定 1 人、B 認定 3 人の方々が新たに認定された。認定試験を合格した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。

【胸部認定者】 敬称略

A 認定：戸澤 僚太（済生会川口総合病院）

B 認定：倉林 哲也（深谷赤十字病院）
白鳥 綾子（八潮中央総合病院）
樋口 誠一（上尾中央総合病院）

地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう ～ 研究発表支援セミナー ～ 開催報告

学術委員会理事
中根 淳

平成 31 年 2 月 2 日（土）に、パイオランドホテルで研究発表支援セミナーを開催しました。
内容および講師は、以下の通りです。

プログラム（敬称略）

- ・ 研究テーマの見つけ方～ 何から始めていいかわからない人へ ～

済生会川口総合病院
城 處 洋輔
- ・ 自分の研究を広く伝えよう！～ 抄録を書くのが苦手な人へ ～

埼玉医科大学病院
近 藤 敦之
- ・ ちょっと待って！そのアンケート、より良くしてみよう！

上尾中央総合病院
佐々木 健
- ・ これだけは知っておきたいデータの取り扱いから統計解析

埼玉医科大学総合医療センター
中根 淳

本セミナーは、2019 年 9 月 14 ～ 16 日に開催される第 35 回日本診療放射線技師学術大会での研究発表を支援するために企画し、県外および非会員を含む 23 人の方々に参加をいただきました。講義の最中に受講者が熱心にメモを取る姿を多く見られるなど、参加していただいた方には、有意義なセミナーであったと感じております。本セミナーがきっかけとなり、地元開催の全国大会で演題エントリーしていただくことを期待しています。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



平成 30 年度第 10 回 CT 認定試験開催報告

学術委員会理事
中根 淳

平成 31 年 2 月 23 日（土）に、ウェスタ川越で第 10 回 CT 認定試験が開催された。

認定試験の受験者数は 20 人であった。CT 認定試験は例年通り、筆記・読影・物理特性の 3 つの試験があり、各試験 70 点以上で認定取得となるため、受験者には幅広い知識や実技が求められる内容となっている。ただし、物理特性に限っては、講習会で実施した NPS・MTF・SSPz のどれか 2 つ選択し、講習会で配布した資料やファイルを見て解析して構わない。試験当日は約 4 時間と長丁場の試験にも関わらず、試験終了間際まで、必死にペンを走らす姿が見られ、受験者の熱意を肌で感じた。主催者側としては次年度も受講者へ有益な講習会が開催できるように精進することを改めて決意した。

最後に認定試験を行うに当たり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げる。

【CT 認定者】 敬称略

- A 認定：岡澤 孝則（上尾中央総合病院）
B 認定：戸澤 僚太（済生会川口総合病院）
井田 篤（上尾中央総合病院）
福崎 彩未（上尾中央総合病院）
飯泉 隼（上尾中央総合病院）
菱沼 寛訓（伊奈病院）
伊藤 麻美（埼玉医科大学総合医療センター）
小野寺衣里（済生会川口総合病院）

認定試験を合格された方々には、各施設で CT 検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけたら幸いです。



第1回 SART 被ばく相談事例検討会報告

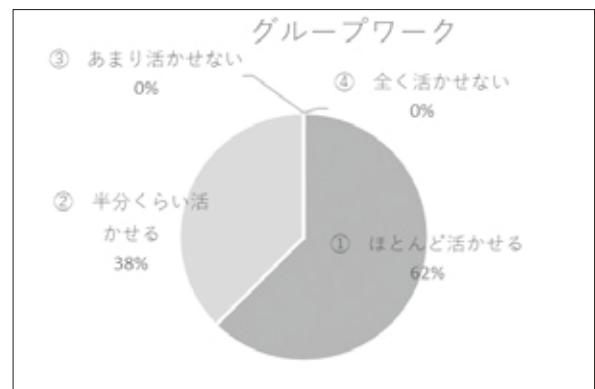
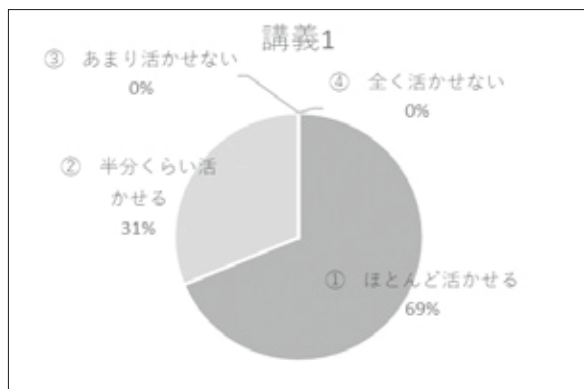
公益委員会常務理事
佐々木 健

2019年3月9日（土）に、（公社）埼玉県診療放射線技師会公益委員会主催の「被ばく相談事例検討会」を上尾中央総合病院で開催した。

最初に特別講演として、諸澄邦彦氏より「医療放射線の規則改正～求められる医療被ばくの説明責任～」と題した、厚生労働省内で検討されている医療放射線の適正管理に関する検討会での内容と記録した線量の扱いから伝え方について講義いただいた。診療放射線技師の職務として検査線量の記録を確実に適正に行う必要があると再確認させられる講義であった。

続いて、芦葉理事より被ばく相談の進め方を根拠を基に紹介いただき、グループに分かれ事例検討を行った。

各グループ、短い時間の中で回答を考え、発表まで到達できた。アンケートの業務に生かせるかの問いも、参加者の半分以上が生かせると回答しており、有意義な時間となったようである。



アンケートの意見も「ディスカッション形式なのでいろいろな意見を交換でき、勉強になった」「座学だけではなく、グループワークがあって良かった」などの意見が多く、好評であったが、同時に時間が短いとの意見も多くいただいたため、次回の企画に反映させていく。

2019年度も公益委員会では被ばく相談事例検討会を開催する予定であるため、奮って参加いただきたい。



グループワーク



グループワーク



講義風景



発表風景